

【A年】

聖霊降臨後第六主日

特定十

主よ、憐れみの耳を傾けて、僕らの祈りをお聞きください。どうかその願いがかなえられるために、主に喜ばれることを願い求めさせてください。主イエス・キリストによつてお願いいたします。アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

旧約聖書

朗読者 「旧約聖書はイザヤ書第五章一節から」

1 渴きを覚えてゐる者は皆、水のところに来るがよい。銀を持たない者も来るがよい。穀物を求めて、食べよ。

来て、銀を払うことなく穀物を求め  
価を払うことなく、ぶどう酒と乳を得よ。

2 なぜ、糧にならぬもののために銀を量つて払い  
飢えを満たさぬもののために勞するのか。  
わたしに聞き従えば

良いものを食ふことができる。

あなたたちの魂はその豊かさを樂しむであろう。

3 耳を傾けて聞き、わたしのもとに来るがよい。  
聞き従つて、魂に命を得よ。

わたしはあなたたちとこしえの契約を結ぶ。  
ダビデに約束した真実の慈しみのゆえに。

4 見よ

かつてわたしは彼を立てて諸国民への証人とし  
諸国民の指導者、統治者とした。

5 今、あなたは知らなかつた国に呼びかける。

あなたを知らなかつた国は

あなたのもとに馳せ参じるであろう。

あなたの神である主

あなたに輝きを与えられる

イスラエルの聖なる神のゆえに。

10 雨も雪も、ひとたび天から降れば

むなしく天に戻ることはない。

それは大地を潤し、芽を出させ、生い茂らせ  
種蒔く人には種を与え

食べる人には糧を与える。

11 そのように、わたしの口から出るわたしの言葉も  
むなしくは、わたしのもとに戻らない。

それはわたしの望むことを成し遂げ  
わたしが与えた使命を必ず果たす。

12 あなたたちは喜び祝いながら出で立ち

平和のうちに導かれて行く。

山と丘はあなたたちを迎え

歓声をあげて喜び歌い

野の木々も、手をたたく。

13 茨に代わって糸杉が

おどろに代わってミルトスが生える。

これは、主に對する記念となり、しるしとなる。

それはとこしえに消し去られることがない。

朗読者 「旧約聖書を終わります」

## 詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

## 第六五編 九十三節

9

あなたは地を訪れて水を注ぎ、豊かな実りで覆われる  
＝ 大空に水を蓄え、地を整えて麦を与えられる

10 田畑に水を送り、土くれをならし＝ 夕立で地を潤し  
て作物を祝福される

11 あなたは豊かな実りの冠を年にいたただかせ＝ あなた  
の訪れる所には油が滴る

12 荒れ野の牧場も若草に萌え＝ 丘一面に喜びがこだま  
する

13 野山は羊に群れに満ち、谷は小麦に覆われ＝ 人びと  
は喜びに溢れて歌う

## 使徒書

朗読者 「使徒書はローマの信徒への手紙第八章九節から」

9 神の霊があなたがたの内に宿っているかぎり、あなたが  
たは、肉ではなく、霊の支配下にいます。キリストの霊を持た  
ない者は、キリストに属していません。10 キリストがあなた  
がたの内におられるならば、体は罪によって死んでいても、  
“霊”は義によつて命となっています。11 もし、イエスを死者  
の中から復活させた方の霊が、あなたがたの内に宿っている  
なら、キリストを死者の中から復活させた方は、あなたがた  
の内に宿っているその霊によつて、あなたがたの死ぬはずの  
体をも生かしてくださいませでしよう。

12 それで、兄弟たち、わたしたちには一つの義務がありま  
すが、それは、肉に従つて生きなければならないという、肉

に對する義務ではありません。13肉に従って生きるなら、あなたがたは死にます。しかし、靈によつて体の仕事を絶つならば、あなたがたは生きます。14神の靈によつて導かれる者は皆、神の子なのです。15あなたがたは、人を奴隸として再び恐れに陥れる靈ではなく、神の子とする靈を受けたのです。この靈によつてわたしたちは、「アツバ、父よ」と呼ぶのです。16この靈こそは、わたしたちが神の子供であることを、わたしたちの靈と一緒になつて証ししてください。17もし子供であれば、相続人でもあります。神の相続人、しかもキリストと共同の相続人です。キリストと共に苦しむなら、共にその栄光をも受けるからです。

朗読者 「使徒書を終わります。」

一同立つ。  
ここで聖歌を歌う。

## 福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖マタイによる福音書第十三章一節以下に記され

た主イエス・キリストの福音。主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

1 その日、イエスは家を出て、湖のほとりに座つておられた。2 すると、大勢の群衆がそばに集まつて来たので、イエスは舟に乗つて腰を下ろされた。群衆は皆岸辺に立つていた。3 イエスはたとえを用いて彼らに多くのことを語られた。4 「種を蒔く人が種蒔きに出て行った。5 蒔いている間に、ある種は道端に落ち、鳥が来て食べてしまった。6 ほかの種は、石だらけで土の少ない所に落ち、そこは土が浅いのですぐ芽を出した。7 しかし、日が昇ると焼けて、根がないために枯れてしまった。8 ほかの種は茨の間に落ち、茨が伸びてそれをふさいでしまった。9 ほかの種は、ほかの種は、良い土地に落ち、実を結んで、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍にもなった。10 耳のある者は聞きなさい。」

18 「だから、種を蒔く人のたとえを聞きなさい。19 だれでも御国の言葉を聞いて悟らなければ、悪い者が来て、心の中に蒔かれたものを奪い取る。道端に蒔かれたものとは、こういう人である。20 石だらけの所に蒔かれたものとは、御言葉を聞いて、すぐ喜んで受け入れるが、21 自分には根がないので、しばらくは続いても、御言葉のために艱難や迫害が起こると、すぐにつまずいてしまう人である。22 茨の中に蒔かれたものとは、御言葉を聞くが、世の思い煩いや富の誘惑が御言葉を覆いふさいで、実らない人である。23 良い土地に蒔かれたものとは、御言葉を聞いて悟る人であり、あるものは

百倍ひゃくばい、あるものは六十倍ろくじゅうばい、あるものは三十倍さんじゅうばいの実みを結むすぶのである。」

司祭しじや 「主しゅに感謝かんしゃ」  
会衆かいしゅう 「主しゅに感謝かんしゃします」